

IV. 予算の重点

1 元気で活力あふれるまちづくり

地域経済の活性化に向けて、価値創造拠点及び工業団地の整備を進めるとともに、中小企業の経営強化、働き方改革等に取り組むほか、農林水産業の振興に努めます。また、外環状道路の整備や都心軸の再整備、交通ネットワークの充実など、発展基盤の整備を進めるとともに、市民生活と調和した持続可能な観光の振興及び移住・定住の促進に取り組みます。

(1) 地域経済の活性化

①新産業の創出と人材の育成

- ・価値創造拠点施設の整備を本格化（令和3年春開設予定）
- ・5G技術を市民生活や企業活動で応用するためのモデル事業を実施
- ・デジタル技術を活用し、子供の知的探究心を刺激する体験教室を開催
- ・小中高生を対象とした起業体験プログラムを実施
- ・小中学生が実践的なプログラミング技術の修得をめざす講習会を開催
- ・みらいクリエイター養成塾修了生のインターンシップ制度を創設
- ・地域に密着したコミュニティビジネスを起業する若者を支援
- ・中小企業のものづくり技術の継承に向けた研修会の開催等を支援

②産業基盤の整備

- ・第5次安原異業種工業団地の第1工区造成工事に着手（令和3年度分譲開始予定）
- ・第2次いなほ工業団地の造成工事に着手（令和3年度分譲開始予定）

③商工業の振興

- ・商業環境の変化に対応し、競争力を高めるための商店街の強化策を検討
- ・卸売事業者の経営基盤強化につながる先進的な取り組みを支援
- ・マイナポイントを活用したキャッシュレス決済の普及を促進
- ・中小企業及び小規模事業者の総合応援窓口を開設
- ・中小企業制度融資の時限緩和措置を1年間延長

④働き方改革の推進と雇用の確保

- ・男性の育児休業の取得促進に向けた奨励金制度を創設
- ・就職氷河期世代等の正規雇用への転換を促進するための奨励金制度を創設
- ・障害のある高校生の雇用定着を支援するため、ジョブコーチによる相談支援体制を強化
- ・働き方改革を実践する企業の取り組みを紹介するセミナーを開催

⑤農林水産業の振興

- ・園芸産地の維持・継承に向けた先導的な取り組みを支援
- ・生産性の向上と作業の効率化を図るため、スマート農業機械の導入を支援
- ・加賀野菜と金沢の海の幸のブランド力を向上
- ・森林環境税の導入を見据え、金沢産材の利活用策や効果的な森林管理手法等を検討
- ・荒廃したスギ林を広葉樹林化するためのモデル事業を実施
- ・石川県金沢食肉流通センターの今後のあり方を検討
- ・卸売市場の再整備に向けた基本構想を策定

⑥公共事業規模の確保

- ・国の経済対策に呼応して、令和元年度最終補正予算への前倒し分と合わせ、一般会計で前年度を上回る271億円の公共事業規模を確保

(2) 都市の発展基盤の整備

①都市基盤の充実

- ・金沢港の整備推進と周辺地域の活性化
大浜埠頭周辺の航路泊地の浚渫等を推進
金沢港開港50周年記念イベントを開催
冬期における魅力創出イベントをクルーズターミナル等で開催
- ・金沢外環状道路の整備を推進
海側幹線4期区間の金腐川橋りょうの上部工に着手
- ・森本駅東広場の整備を本格化（令和3年3月完成予定）
- ・南新保地区の土地区画整理事業を推進

②都心軸の再整備

- ・金沢駅武蔵南地区市街地再開発ビルの建設を支援（令和3年秋完成予定）
- ・片町四番組山側地区の再整備に向けた地元組織の活動を支援

③交通ネットワークの充実と公共交通の利用促進

- ・新しい交通システムの検討
停留所や車両基地、概算事業費、事業スキーム等の検討、交通影響調査の実施など
- ・森本駅東広場パーク・アンド・ライド駐車場を整備（令和3年3月供用開始予定）
- ・運転免許証を自主返納する高齢者に対する公共交通利用支援制度を拡充
- ・地域運営バス等の導入地区の拡大をめざす交通まちづくり塾を開催
- ・運転手不足等を踏まえたふらっとバスの持続可能な運行方法を検討

(3) 交流・定住人口の拡大

①海外からの誘客の促進

- ・欧米の富裕層等をターゲットとした誘客プロモーションを実施
- ・東日本連携・創生フォーラム加盟自治体と連携し、オリンピック期間中の観光誘客を促進
- ・ホストタウン相手国のメディア等を通じて金沢の観光情報を発信
- ・外国人向けのマナー啓発パンフレットを作成
- ・食に関する多言語案内の表示指針を策定

②北陸新幹線延伸・リニア中央新幹線開業を見据えた対策の推進

- ・簡易宿所等の適正運営に向けた指導を強化
簡易宿所に対し管理者の常駐を義務化（令和2年7月条例施行）
既に運営している簡易宿所等における消防設備の設置を支援
簡易宿所等に対する防火管理研修会を開催
- ・市民生活と調和した持続可能な観光振興策を検討し、観光振興推進計画を策定
- ・金沢中央観光案内所を開設（令和2年4月予定）
- ・新しい公共シェアサイクル「まちなり」の運営を開始（令和2年3月）
- ・公衆無線LANの利用エリアを拡大（主計町・ひがし茶屋街周辺、片町バス停周辺など）
- ・近江町市場に隣接する十間町広場に交流スペースを設置
- ・金沢駅東広場もてなしドームのガラス美化を推進
- ・犀川周辺における新たな賑わいの創出を検討

③移住・定住の促進

- ・首都圏の学生との協働による「いいね金沢ゼミ」を開催し、UJIターンを促進
- ・市内事業所のインターンシップに参加する県外学生向けの支援制度を創設
- ・保育士及び看護師のUJIターンを促進するための支援制度を創設〔再掲〕
- ・民間事業者等と連携し、空き家の活用・流通促進体制を構築

2 伝統と創造で発展するまちづくり

東京オリンピック・パラリンピック関連事業の本格実施に万全を期すとともに、スポーツを通じた地域の活性化に取り組むなど、スポーツ文化の積極的な推進に努めます。また、建築文化に立脚したまちづくりや芸術・文化の振興など、個性ある文化の継承と発展に努めるほか、金沢美術工芸大学の移転整備及び金沢らしい景観の創出に取り組めます。

(1) スポーツ文化の推進

①東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進

- ・オリンピック・パラリンピック関連事業実施本部を設置
- ・フランス代表チーム等の事前合宿を本格受け入れ
- ・若手選手をオリンピック競技会場へ派遣し、フランス代表チーム等と交流
- ・ホストタウン相手国とスポーツを通じた青少年交流を実施
- ・応援曲の制作やバナーフラッグの設置、記念飾花等により開催機運を醸成
- ・聖火リレーを実施するとともに応援イベントを開催
- ・大型スクリーンによる観戦や競技体験ができるコミュニティライブサイトを総合体育館で、パブリックビューイングを金沢駅東もてなしドーム地下広場で開催
- ・本市出身のメダリスト大島鎌吉の功績を紹介する企画展を金沢ふるさと偉人館で開催
- ・福祉施設入所者とパラリンピアンとの交流会を開催
- ・小中学校におけるオリンピック・パラリンピック教育を実践
- ・玉川・泉野・海みらい図書館でオリンピック・パラリンピック関連イベントを開催

②スポーツ施設整備計画の実践

- ・市民サッカー場の再整備に向けた実施設計に着手（令和5年度完成予定）
- ・市民野球場の人工芝化等に着手

③スポーツ文化を通じた地域の活性化

- ・金沢文化スポーツコミッションによる大会等の誘致を推進
 武道を組み合わせたスポーツツーリズムを構築
- ・本市にゆかりのあるスポーツ遺産を総合体育館で常設展示
- ・障害のある児童を対象としたトランポリン教室を開催
- ・第6回金沢マラソンを開催（令和2年10月25日）
 ペアで参加するファミリーラン（1.5kmコース）を開催

(2) 建築文化に立脚したまちづくりの推進

①建築文化の魅力発信

- ・谷口吉郎・吉生記念金沢建築館において、金沢の建築を紹介する企画展を開催
- ・著名な建築家を招き建築文化の理解を深める講演会を開催
- ・子供達が建築文化を体験する建築ワークショップ等を実施

②木質都市の創出

- ・「木」にこだわる木質都市の創出をめざし、今後の取組の方向性や施策を検討

(3) 個性ある文化の継承・発展

①芸術・文化の振興

- ・ソフトとハードとを連関させた文化政策を総合的に推進するため、文化政策課と文化施設課を「文化政策課」に改編
- ・新たな文化芸術アクションプランを策定

- ・国際的クラシック音楽家による日露交歓コンサートを開催（令和2年10月3日、4日）
- ・金沢歌劇座で鈴木大拙の生涯を題材にしたオペラ「禅～ZEN～」を公演

②芸術・文化を担う人材の育成

- ・小中学生を対象とした多様な芸術文化体験イベントを開催（夏期、冬期各2日間）
- ・大学生等に対する文化体験プログラムを実施
- ・工芸こども塾で漆講座を開催
- ・若者を対象としたジャズ人材育成プログラムを実施
- ・文京区との間でミュージカルを通じた中高生の相互交流事業を実施
- ・中学校において弦楽四重奏による音楽鑑賞会を開催
- ・全国学生大茶会を開催（令和2年8月29日、30日）
- ・全日本高校生WASHOKUグランプリを開催（令和2年8月11日）
- ・茶屋継承者に対する家賃等助成制度を創設

③芸術・文化施設の充実

- ・金沢歌劇座の建替えに向けた技術的検討に着手するとともに、これを核とした本多町芸術文化ゾーン（仮称）の方向性を検討
- ・アートホールの大規模改修に着手（令和3年9月オープン予定）
- ・金沢21世紀美術館の展覧会「内藤礼展（仮称）」において、日時指定観覧券を試行販売
- ・AR（拡張現実技術）を活用した祖父母と孫の文化施設観覧促進事業を実施

④歴史文化資産の保存・活用

- ・文化財保存活用地域計画を策定
- ・安江町地内の辰巳用水の修景整備に向けた実施設計に着手
- ・金澤町家の文化を現代に生かしたまちなみ形成住宅（仮称）をモデル的に整備
- ・特定金澤町家登録制度の運用を開始

⑤国立工芸館の開館と金沢KOGEIアクションプランの実践

- ・移転開館する東京国立近代美術館工芸館の魅力を発信（令和2年7月開館予定）
- ・海外富裕層への販路拡大に向けて、工芸体験モデルを開発
- ・工芸作家等と消費者とのつなぎ手となる販路コーディネーターを育成
- ・工芸作家等の経営スキルの向上をめざす実践的な研修会を開催
- ・工芸体験スペースの設置等に対する助成制度を創設

（4）金沢美術工芸大学の振興

- ・金沢大学工学部跡地への移転整備に向けた建設工事に着手（令和4年度完成予定）
- ・「金沢美術工芸大学建設事務所」を旧中央消防署小立野出張所に開設
- ・国内外で活躍する卒業生と連携し、移転機運の醸成に向けたプロモーションを展開
- ・周辺を流れる辰巳用水の修景整備工事に着手

（5）魅力ある都市環境の形成

①美しい景観の創出

- ・金沢らしい魅力的な夜間景観を創出するため、桜橋、石伐坂等に照明設備を整備
- ・良好な広告景観の形成に向けて、観光地や繁華街の広告に対する指導を強化
- ・冬の風物詩である薦掛けと雪吊りの魅力を発信
- ・卯辰山公園内の循環園路等に夜間照明設備を整備

②無電柱化の推進

- ・安江町地内の整備を推進（令和3年3月完成予定）
- ・寺町台重要伝統的建造物群保存地区（旧鶴来街道）の管路工事を本格化

3 子供を守り健やかに育むまちづくり

将来を担う子供を育むため、幼児教育センターの新設や出産・育児への支援体制の強化、児童相談所の機能及び貧困対策の充実など、子育て夢プランの実践に全力で取り組みます。また、小学校等の再整備や特別支援教育サポートセンター（仮称）の整備など教育環境の充実に努めるとともに、金沢型学校教育モデルの実践及び生涯学習の推進に取り組みます。

(1) 子育て夢プラン2020の実践

①子供の成長を担う人材の育成と確保

- ・こども未来部に「幼児教育センター」を新設
幼児教育カリキュラムを策定するとともに幼稚園教諭等の研修内容を充実
若手芸術家を保育施設等に派遣し、創作活動等を通じて子供の育ちを支援
資格を持つ潜在的な保育士の就労を促進するためのリカレント研修等を実施
- ・保育士のU J Iターンを促進するための支援制度を創設
- ・大学生を対象とした子育て体験教室を開催
- ・児童館及び児童クラブ職員の定着と安定的な施設運営を図るため、職員の処遇を改善

②子育て支援環境の充実

- ・私立保育所等の増改築を支援
- ・私立保育所等の施設設備整備に対する支援制度を拡充
- ・特別支援教育サポートセンターと一体的に整備する芳齋児童館の基本・実施設計に着手
- ・児童クラブの新設を支援（3クラブ）
- ・児童クラブの施設整備に対する支援制度を拡充
- ・園児等のお散歩コースとなっている道路や公園の安全対策を推進（最終補正一部前倒し）
- ・施設の老朽化に対処するため、市立保育所の改築等の方針を検討

③子供を守る相談体制の強化と貧困対策の充実

- ・子どもソーシャルワーカーを増員し、相談支援体制を強化
- ・子供の居場所づくり活動を実施する民間団体等のネットワークを構築
- ・訪問相談支援員を配置し、生活困窮者の自立に向けた訪問型の相談支援を実施
- ・家計改善支援員を配置し、家計改善プランの作成等を支援
- ・児童虐待防止対策の強化に向けて、児童相談所の専門職員を増員
- ・虐待のあった保護者や児童に対し、精神科医によるカウンセリングを実施
- ・離婚後の養育費の取り決めに必要な公正証書の作成等を支援

④出産・育児への支援体制の充実

- ・金沢広域急病センターの小児科の診療時間延長をゴールデンウィーク等でモデル実施
- ・就学前発達相談窓口の開設回数等を拡大
- ・駅西こども広場の開設を土曜日に拡大
- ・子ども医療費助成の医療証及びひとり親家庭等の医療助成費資格証をカードサイズ化
- ・乳幼児予防接種への支援を拡充
インフルエンザ等の予防接種助成回数を拡大
ロタウイルスワクチンを定期接種化
- ・訪問型の病後児預かりモデル事業を実施
- ・多子世帯等に対する産前・産後ママヘルパーの派遣の期間及び回数を拡大
- ・ボランティアによる子育てに関する訪問相談を実施
- ・0歳児の親子ふれあい教室を開催

(2) 学校教育の振興

①金沢型学校教育モデルの実践

- ・学校教育振興基本計画を改定
- ・新学習指導要領を踏まえた金沢型学習スタイルを実践
- ・ICT機器を活用した教育環境を充実
児童生徒全員に学習用端末を計画的に配置（令和5年度まで）
1人1台環境に対応するためのLAN整備等を全ての小中学校及び
市立工業高校で実施（最終補正）
- ・市立工業高校における新たな金沢型工業教育モデルを検討
- ・コミュニティ・スクールを全中学校に拡大

②特別支援教育等の充実

- ・特別支援教育サポートセンター（仮称）等の整備に向けた基本・実施設計に着手
中央小学校芳齋分校の改築と小将町中学校特学分校の移転に併せ、特別支援教育
サポートセンターを設置し、芳齋公民館、芳齋児童館と一体的に整備
- ・特別支援教育指針を改定
- ・適応指導教室の教育相談体制を強化
- ・金沢大学と連携し、発達障害児等に対するソーシャルスキルプログラムを実施
- ・心と学びの支援員の小学校への派遣を拡大
- ・不登校児童生徒を支援する民間団体等との連絡会を開催
- ・多様性のある子供の教育に関するフォーラムを開催
- ・特別支援学級等の中学生保護者を対象とした就労セミナーを開催

③教育環境の整備

- ・中央小学校の移転整備に向けた建設工事に着手（令和4年3月完成予定）
- ・犀桜小学校の新校舎建設工事に着手（令和4年3月完成予定）
- ・田上校下の新たな小学校の建設に向けた実施設計に着手（令和5年3月完成予定）
- ・森山町小学校の校舎改築を完了（令和2年4月1日供用開始）
- ・小中学校のエアコン整備を推進
令和2年度中に全ての小学校の整備を完了（最終補正）
中学校の整備に向けた実施設計に着手
- ・新たな共同調理場の整備に向けて、泉本町地内の用地を先行取得
- ・旧材木町小学校体育館の防災機能を強化

(3) 生涯学習の推進

①青少年教育・家庭教育の推進

- ・生涯学習振興基本計画を改定
- ・地域ぐるみで子供を育む地域学校協働活動の実施校区を拡大
- ・青少年リーダー等のスキルアップを目的とした研修会を開催
- ・公民館と児童館・児童クラブとの連携事業を促進
- ・四十万公民館の建設工事を本格化（令和3年3月完成予定）
- ・特別支援教育サポートセンターと一体的に整備する芳齋公民館の基本・実施設計に着手
- ・青少年のネット被害を防止するため、地域向けの啓発活動等を実施
- ・宇宙教育推進計画を改定

②読書環境の充実

- ・玉川こども図書館の再整備に向けた建設工事に着手（令和4年3月完成予定）
- ・市立図書館の図書貸出・返却サービスを行うモデル事業を学校や公民館等で実施

4 誰もが安心して暮らせるまちづくり

新たな長寿安心プラン及びノーマライゼーションプランの策定を進めるとともに、泉野福祉健康センターの改築に取り組むなど、支え合う福祉健康社会の実現をめざします。また、地震・台風・大雨等に備え、危機管理センターの開設や水害対策及び消防・救急体制の強化に取り組むとともに、クマ・イノシシ等の獣害被害の防止に努めるほか、ごみ処理基本計画を実践し、ごみの減量化・資源化を一層促進します。

(1) 支え合う福祉健康社会の実現

①地域における支え合いの充実

- ・地域福祉計画を改定
- ・地域福祉に関する相談を総合的にコーディネートする相談支援員を配置
- ・地域に身近な福祉相談窓口を拡大
- ・地域福祉支援コーディネーターを地区社会福祉協議会に拡大配置
- ・善隣館が実施する多世代交流事業を支援
- ・地域包括支援センターの機能強化や圏域の見直しを検討

②福祉健康社会を担う人材の育成と確保

- ・介護人材の確保に向けたフォーラム等を開催
- ・介護に従事するケアサポーターの就職面談会を開催
- ・看護師のU J I ターンを促進するための支援制度を創設
- ・まちぐるみ福祉活動推進員の合同研修会を開催

③お年寄りへの支援

- ・長寿安心プラン2021を策定
- ・地域密着型特別養護老人ホーム等の建設を支援（2施設）
- ・高齢者の活躍をサポートするアクティブシニア活躍応援窓口を拡大実施
- ・I o Tを活用した認知症高齢者地域見守りネットワーク事業の対象エリアを拡大
- ・ACP（人生会議）の啓発に向けた講演会等を開催

④障害のある方への支援

- ・ノーマライゼーションプラン金沢2021及び第6期障害福祉計画等を策定
- ・24時間相談できる地域生活支援拠点事業を実施
- ・医療的ケアが必要な障害児に対する移動介護支援制度を創設
- ・障害のある方が制作したアウトサイダー・アートの魅力を発信
- ・障害のある高校生の雇用定着を支援するため、ジョブコーチによる相談支援体制を強化〔再掲〕

⑤市民の健康増進

- ・泉野福祉健康センターの改築工事に着手（令和4年春供用開始予定）
- ・金沢健康プラザ大手町の再整備に向けた基本計画を策定
- ・市立病院の再整備に向けて、求められる機能や他の機関との連携等を調査検討
- ・今後の二次救急医療体制のあり方を検討
- ・学生等と連携し、若年世代に対するがん検診の受診を勧奨
- ・成人男性に対する風しん抗体検査及び予防接種の勧奨を前倒し実施
- ・改正健康増進法の全面施行を受けて受動喫煙防止対策を強化
- ・骨髄移植を促進するための助成制度を創設
- ・基金の取崩し等により国民健康保険料率の必要最小限の改定を実施

(2) 災害に強いまちづくり

①安全・安心の確保

- ・最新の防災情報システムを備えた危機管理センターの供用を開始（令和2年5月）
- ・危機管理センターを活用した防災啓発イベントを開催
- ・地域防災計画を改定
- ・コミュニティ防災士による連絡組織を立ち上げ
- ・地区防災計画を策定した自主防災組織の資機材整備等に対する助成制度を拡充
- ・次期建築物耐震改修促進計画を策定
- ・金沢大学と連携し、大学周辺のクマ出没対策を強化
- ・捕獲したイノシシの回収体制を構築するなど、イノシシ・サル等の獣害防止対策を強化
- ・イノシシ被害を受けた農地等の修復に対する助成制度を創設

②防災インフラの整備

- ・長寿命化計画に基づく橋りょう補修を推進
- ・緊急輸送道路の橋りょうの耐震化や舗装補修を推進

③水害対策の強化

- ・水害ハザードマップの各世帯への配布を完了
- ・大宮川流域の浸水被害を解消するための排水対策に着手
- ・河川の水位状況をインターネットで確認できる監視カメラを設置
- ・河北潟周辺の水位上昇に対応するための排水機場遠方監視システムの導入に着手

④消防・救急体制の強化

- ・文化財等の建造物の火災予防体制を強化
- ・水害対策を強化するため、救助隊及び消防隊に救命ゴムボート等を計画的に配備
- ・救命処置の迅速化を図るため、消防ポンプ自動車にAEDを計画的に配備
- ・女性消防団員を増員するなど消防団団本部の機能を強化

(3) 環境負荷の少ないまちづくり

①温暖化対策の強化とごみの減量化・資源化の推進

- ・次期地球温暖化対策実行計画を策定
- ・小中学校及びスポーツ施設の体育館で照明のLED化を推進（令和3年度までに一斉更新）
- ・食品ロス削減推進計画を策定
- ・リサイクル推進課と環境指導課を「ごみ減量推進課」に改編し、家庭ごみと合わせて、事業ごみの減量化・資源化を推進
 - ごみ減量化アドバイザーを設置し、事業者への指導を強化
 - 事業系古紙の拠点回収をモデル実施
 - 事業用生ごみ処理機の導入に対する支援制度を創設
- ・古紙の集団回収に対する支援制度を拡充
- ・家庭ごみの資源回収に対する支援制度を拡充
- ・公共施設を活用した資源搬入ステーションをモデル実施

②地球環境の保全

- ・金沢湯涌ホテルの里の整備に着手（令和3年6月開設予定）
- ・脱プラスチックに向けた普及啓発事業を実施

③環境施設等の整備

- ・次期廃棄物物理立場の供用を開始（令和2年10月）

5 市民と共に進めるまちづくり

地域コミュニティの醸成・充実をめざし、地域団体に対する支援の拡充や旧町名の復活に積極的に取り組みます。また、自治体間の広域連携の促進に向けて、新たな石川中央都市圏ビジョンを策定するとともに、次期基幹情報システムの構築及び第二本庁舎の供用開始に万全を期すほか、行政改革大綱や中期財政計画の実践により、健全財政の堅持に努めます。

(1) 地域コミュニティ活性化推進計画の実践

① 地域コミュニティの醸成

- ・ 金石地区の旧町名復活を推進
- ・ 地域住民と外国人との共生を支援するモデル事業を実施
- ・ 地域コミュニティの醸成や子育て支援に資する公園再整備の手法等を検討

② 地域コミュニティ組織への支援

- ・ コミュニティ関連施設の整備等に対する支援を拡充し、地元負担を軽減
公民館、児童館、消防団（機械器具置場、警鐘台）、老人憩の家、
コミュニティセンター
- ・ 公民館、児童館、児童クラブ職員の定着と安定的な施設運営を図るため、職員の処遇を改善
- ・ 校下（地区）町会連合会の町会加入促進に向けた取り組みを支援
- ・ 市民活動サポートセンターにおいて新任町会長研修会やICT活用相談会を実施

③ 地域コミュニティ活動への支援

- ・ プランに基づく地域コミュニティ活性化事業の対象団体を拡大
- ・ 田園・中山間地域における空き家等を活用した地域拠点づくりを検討
- ・ 古紙の集団回収や家庭ごみの資源回収に対する支援制度を拡充 [再掲]
- ・ 地域運営バス等の導入地区の拡大をめざす交通まちづくり塾を開催 [再掲]

(2) 市民協働の推進

- ・ 第3次協働推進計画を策定
- ・ 協働のまちづくりチャレンジ事業に高校生部門を追加
- ・ 町会等が実施するまちづくり協定の周知活動等を支援
- ・ 地域において応急手当の普及を担うリーダーを養成
- ・ 市民がSNS等を活用して金沢の魅力を発信する市民リポーター制度を導入
- ・ シビックテックによる課題解決型アプリの開発を促進

(3) 広域連携の推進

① 石川中央都市圏の連携強化

- ・ 次期石川中央都市圏ビジョンを策定
- ・ 水道施設における管理の共同化を検討
- ・ 消防車両の相互乗入などの広域連携に向けた計画を策定
- ・ 広域災害に対応するためのり災証明書交付システムを導入
- ・ 圏域交通の課題解決に向けて、協議会を設置し対応策を検討
- ・ 旧北国街道をめぐる歴史探訪イベントを共同開催
- ・ 圏域で働く女性のネットワーク交流会を開催

②姉妹都市・友好交流都市等との連携

- ・バッファロー市の日本庭園の修復に向けて、職人を派遣
- ・東アジア文化都市との交流を推進
- ・ユネスコ創造都市から工芸家を受入れ（フランス・リモージュ市）
- ・学生と留学生との交流等を通じて、本市に定着するグローバルな人材を育成
- ・目黒区の旧前田家本邸と連携し、金沢の文化体験プログラムを実施

（４）SDGsの推進

- ・多様な主体と連携し金沢SDGs行動計画を推進
- ・金沢SDGsを推進するための担い手を育成
- ・発展途上国で作られた製品等を積極的に活用するフェアトレードを推進

（５）効率的で自立度の高い市政の推進

①行政サービスの向上

- ・次期基幹情報システムを構築（令和3年1月稼働予定）
- ・第二本庁舎の供用を開始（令和2年5月）
- ・玉川こども図書館と一体的に整備する公文書館の建設工事に着手（令和4年3月完成予定）
- ・窓口に自動翻訳機等を導入し、多言語によるサービスを充実
- ・おくやみに関する各種手続をサポートする窓口を開設
- ・個人番号カードの交付窓口を拡大
- ・証明書等のコンビニ交付手数料を引き下げ
- ・公金収納にかかるスマートフォン決済を導入

②行政改革と働き方改革の実践

- ・経営企画課に「ガス・発電事業譲渡準備室」を設置し、ガス事業及び発電事業の事業譲渡に向けた準備を本格化
- ・学校給食費の公会計化に向けた徴収管理システムの構築に着手
- ・アウトソーシング推進計画の実践
指定管理者制度における更なる民間活力の導入を検討 など
- ・障害者雇用を推進
- ・会計年度任用職員制度を導入
- ・効率的な業務の推進
RPA技術等を活用した事務の自動化を推進（就学援助申請書受付事務など）
事務のペーパーレス化を推進（ペーパーレス会議システムの導入など）
職員の固定席を設けないフリーアドレスを計画的に導入
職員のテレワークを試験的に実施

③健全財政の堅持

- ・中期財政計画の実践
実質公債費比率 5.4%（安全とされる18%未満を堅持）
市債依存度 9.1%（市債発行を抑制（地財計画10.2%））
市債の計画的な繰上償還 10億円（うち最終補正で5億円）
基金の計画的な積み立て 10億円
うち教育福祉施設等再整備積立基金 6億円
文化スポーツ施設再整備積立基金 4億円